

議会報告会 報告書

担当班： 3班

班代表者：森本 富夫

概要			
<p>地区名：西紀北地区 日時：平成25年 5月14日(水) 19:30～ :21:30 場所：しゃくなげ会館 参加人数：23人(男20人・女3人)</p>	<p>【出席議員】 森本富夫 植村 満 前田えり子 隅田雅春 渡辺拓道 足立義則</p>	<p>(1) 開会あいさつ : 森本 (2) 議会報告 : 渡辺 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ : 隅田</p>	<p>挨拶・総括 : 森本 司会進行 : 足立 報告・PP操作 : 渡辺 受付 : 前田 記録 : 植村 写真・会場(マイク): 隅田</p>

【主な質疑】

質疑・意見	回答
<p>・議会基本条例の取り組みについて、思いを形にする議会において、議員提案が十分されているのか。</p>	<p>・本日報告した看護師の奨学金制度なども、議員提案で実現されたものです。なお今回の制度については、人材育成を目的とした財源を活用していきます。 ・議員提案につきましては、暴力団の排除条例もそうであり、今後ジェネリック薬品・空き家条例などにも取り組んでいきます。</p>
<p>・一番会議との違いについて、報告会以降のフォローをどのようにするのか。</p>	<p>・報告会でいただいた意見は、3種類(議会に対するもの・執行部に対するもの・政策討論会で議論)に分類し方向を決め、まちづくり協議会会長及び地区自治会長会理事宛に回答させていただきます。</p>
<p>・看護師に対する奨学金制度もふるさと納税を活用と聞いているが、ふるさと納税がどのように活用されているか明らかにしてほしい。</p>	<p>・ふるさと納税については、まちづくり運動などに充てています。</p>

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・シンボル事業の中の空き家等管理条例について、家だけでなく、農地や山林も含めて考えていくべきと考えます。まちづくりアンケートの中では、この地域の強みとして、景観が美しいことが多くあげられ、弱みとしては高齢化・過疎化の問題があげられました。1人暮らしの高齢者が多くなり、景観が守れなくなることを心配します。 ・南丹市では、森林を含めた管理条例が制定されています。篠山市でも検討が必要と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等管理条例については、当局とも十分な検討をして進めていきたいと考えます。議員に、意見が出ていることを認識するよう報告しました。 ・執行者に、意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・市議会だよりについて、市の広報と一緒に自治会長宅に配布依頼されるが、議会から一言お願いの言葉が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月25日の自治会長会総会にて、議長から謝意を述べ、あらためて依頼させていただきました。
<ul style="list-style-type: none"> ・8月のラジオ体操について、西紀北地区からの参加方法について計画されていると思うが、議会としても把握しておいて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車人数 20 名以上となる市内の団体・サークル等には無料送迎バスが運行されます。(教育委員会に事前申込必要・先着順)
<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少について、かなり深刻に受け止めていていたが、最近は議会の話題に上がらないように思う。西紀北においては深刻な問題である。定住促進事業も、目に見える推進がされていないように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家条例も定住促進の一環です。駅の近くで分譲を行うとすぐに完売する状況もあり、働く場所の確保も合わせて推進しなければならないと考えます。議員に、意見が出ていることを認識するよう報告しました。 ・執行者に、意見があったことを伝えます。 ・人口については、定住施策を徹底しても今後 20 年で、7 割の地域で人口が減少する試算があります。市としては今の施策を 3 年間推進し、次なる施策を検討していく方針です。 ・執行者に、意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・農地の活用と規制緩和について、農地法の問題もあるが、どのような議論になっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今田地区において、農地も合わせて宅地の売買ができればなどの意見がありました。現在新規就農では、30 アールの特区を設けています。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬の削減について、政務調査費については必要がないのではないか、との意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政務調査費につきまして、議会としては必要と考えております
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児等医療費助成事業として大きな予算が組まれているが、現在の状況及び将来の乳幼児等医療の目途について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を育てやすい環境を整備しなければなりません。小学6年生までの医療費の一部と、中学生の入院費の助成をしており、その積み上げが年間9,500万円となっています。年間約300人の新生児が生まれている状況です。
<ul style="list-style-type: none"> ・水道代が高い状況の改善を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道代については、以前から指摘されてきましたが、議会として、これまで地域別の料金の検討をしておりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・入湯税が地域に十分還元されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線の補修費として、入湯税を活用させていただいております。
<ul style="list-style-type: none"> ・議員は、議員の証である議員バッジを着用すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・真摯に受け止めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・議会として農業委員会とも真剣に協議し、早急に本市の農業施策を推進していただきたい。議会としての真剣な報告会の姿勢を見せていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会への厳しい提言と受け止めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長名で、治山工事の要望書を4月24日に提出したが、5月4日には無理だとの連絡があった。窓口での写真判断や電話連絡であり、現地での確認や県との協議等、十分検討がされたのか、災害により死亡事故等が起こればどうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書で要望が提出されており、できうることを検討し文書で回答するように担当部署に伝えます。議員も要望書内容を十分に認識していきます。 ・執行者に、意見があったことを伝えます。